

いやしの家・癒しの里

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	0	
理念に基づく運営	1 理念の共有	1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	福祉サービスを通して、地域住民の健康増進に寄与し、“お互いに癒し、癒される関係”づくりを目指す、運営理念のもとにその人らしい生活の継続ができるようサービスの提供を行っている	0	
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員共に常に理念の確認をしながら、理念をもとに職員研修がなされている。またケアプランに理念を反映して日々実践に取り組んでいる	0	
	3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関部分に掲示し、いつでも理念を確認できるようにしたり、家族会や運営推進会議など家族や地域の方たちに伝えるように取り組んでいる	0		
	2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		自己評価3項目・外部評価1項目	0	
	2 地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	見守り隊として集団下校時の見守りや、買い物時、散歩時の挨拶や、地域との交流の機会も増えており、夏祭りや餅つきなど地域の方の参加も増えてきている	0	
5 外部評価3		地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域で行われる、運動会や文化祭、サークル等に積極的に参加し、地域の一員としてできることを運営推進会議などで提案、助言をもらうようにしている。地元との交流の場は徐々に増えている	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づき運営	2 支地 え域 合 と い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	事業所として地域の見守り隊の登録をし、送迎車にステッカーを提示し地域貢献の手助けになればと、集団下校の見守り等実施している。役場へ見学や相談会への受け入れを提案し、実施している	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	0	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価項目の一つ一つに対し、運営者、管理者、職員一丸となって検討、改善に取り組んでいる	0	
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	課題への取り組み状況についての報告をおこなったうえで、具体的な助言や提案、意見を求め、サービスの向上に繋げていっている	0	
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所としては現状の報告や、連絡等で度々役場へ行き来しており、役場からも夏祭りの掲示等で協力してもらったり、担当者が来所したりと共に機会を作っている	0	
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	毎年、施設内研修にて地域権利擁護事業や成年後見制度について全員が学ぶ機会を持っている。各フロアに資料を配置し、いつでも目を通していただけるように家族会等に声かけを行っており、必要な場合は個々との話し合いを持っている	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内研修にて高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持つと共に、各フロア、ファイルとして随時学べるように資料を配布しており、日常的に虐待防止への自己チェックができるようにしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0		
理念に基づく運営	4	理念を 実践す るため の体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては事前の面談や説明により、不安や疑問等が十分な話し合いを重ねることで少しでも理解・納得していただけるように時間を取っている。納得いただけるまで丁寧に説明や見学を実施している	0	
			13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が運営推進会議へ参加して外部者へ表せる機会としたり、管理者は個々の不満等個別に把握できるようにして、運営に反映させている	0	
			14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会の度に状況報告や、状況の変化に応じて随時報告をしており、定期健診等の結果から看護師から健康状態の説明を必ず実施している。金銭管理に関しては出納の内訳を月ごとに領収書と共に家族に配布し、説明を行っている。職員の異動等は各フロアの掲示板や広報だよりでお知らせすると共に、その都度紹介をしている	0	
			15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談・苦情処理の窓口を設けると共に、意見・要望投書箱を設置して運営に反映している。運営推進会議等にて家族にも参加していただくことでその機会としている	0	
			16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月フロア会議を実施し、職員の意見を拾い上げ、全体の会議で提案、反映させている	0	
			17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要な時間帯に職員を確保できるように、ユニットだけではなく他のユニットからも協力体制をとり調整するように努めている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基 づく運 営	4 理 念 を 実 践 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動は必要最小限として利用者の同様の少ないように工夫している	0	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	0	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員採用時には人権の尊重に配慮し、且つ広く門戸を開放している。また職員についても勤務時間外は伸びやかにプライベートな生活が送れるようにしている。個々が能力を十分発揮できる場を検討して配慮している	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	毎年、施設内研修にて人権教育、啓発活動を実施し、人権尊重に取り組んでいる	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内研修はもちろん、施設外にてキャリアアップのための研修へ事業所からバックアップし参加の機会を作ったり、研修の機会を確保することによってモチベーションの向上に努めている。研修内容によっては勤務として参加可能としている	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループ協議会を通じて、他のグループホームとの情報交換や研修の場とすることで、サービスの質の向上に繋がっている	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員慰安旅行、夏祭り、忘年会等ストレス発散の機会を設けている。職場の意見、提案等を月1回の主任会議で拾い上げている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各種図書、月刊誌、教育ビデオを用意し、外部研修会の案内等を行い、毎年、目標管理システムを取り入れ、自己管理シートにより個人が成果目標に向かい計画的に行動できるようにしている	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10項目・外部評価 2項目	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価 4項目・外部評価 1項目	0	
	1 相談 から 利用 に至 るま での 関係 づく りと その 対応	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用にいたるまでに利用者本人から十分に話を聞き、不安や疑問に答えていけるように面談の機会や見学等を重ねることにより、安心、信頼して利用していただけるように努力している	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用にいたるまでに利用者、利用者家族から十分に話を聞き、不安や疑問に答えていけるように面談の機会や見学等を重ねることにより、安心、信頼して利用していただけるように努力している	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の際は本人と家族に他のサービスの紹介等を行い、選択肢を多く持つような援助を行っている。その上でグループホームとして個別な対応が必要な場合はできるだけ希望に沿えるように努力している	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	可能な限り、体験入所や見学等で馴染めるかどうかを見極めながら、家族とも相談しながら利用を開始するように工夫している	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価 6項目・外部評価 1項目	0	
係り とこ れな 関係 づく り の 支 援	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	運営理念である「癒し、癒される関係作り」の実践で、お互いに家族のような関係作りができており、スタッフが利用者から学ぶことを研修や事例報告を通じてお互いに感じあうことができています	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族とはケアプラン説明の際に意見を尊重し、家族の不安や思いを傾聴すると共に、家族会ではバーベキューや花見等に一緒に参加して信頼関係を築き、本人を支えていけるように協力している	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族との関係は面談や面会時、バックグラウンドの聞き取り等で関係の理解に努めると共に、入居後もよりよい関係が継続できるようにこまめに連絡をとり、支援している	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔暮らしていた場所にドライブでお連れしたり、家族に情報として本人の話の中から馴染みの場所や行きたい場所等を伝え、外出依頼をしたりとできる限りの支援に努めている	0	協力的な家族は支援に対して協力的だが、遠方で、認知症の進行が見られる方は家族も消極的である
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	居室で孤立することのないようにフロアでのレクリエーションや談話等で利用者同士がコミュニケーションを図れるような場を提供すると共に、各ユニット間での交流が持てるように合同のサークル等も行っている	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	手紙のやり取りや、家族等の訪問がしやすいような雰囲気作り、声かけ等を行っている	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価17項目・外部評価6項目	1	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価3項目・外部評価1項目	0	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	フェイスシートにより本人の思いや、希望、意向の把握をすると共に、日常より本人のニーズの把握に努めている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時面談を行い、バックグラウンドの聞き取りやこれまでの生活やサービス利用の経過等をもれなく把握できるように本人や家族はもちろん関係機関等と連携し把握に努めている	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	1日の生活パターンを把握すると共に、アセスメントツールを用いて機能の評価とバイタルチェックによって健康状態のチェックを行い、総合的に日々チェックをしている	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の希望を取り入れ、職員等で意見を出しながら介護計画を作成している。定期的にカンファレンスを実施し意見やアイデアを出し合い介護計画に反映している	0	
		39	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じてケアカンファを開催し、関係者での見直しを実施すると共に、その他の変化が生じた場合はその都度カンファレンスを踏まえ、現状に即した新たな介護計画の作成を行っている	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気づき、重要な言動に関しては経過記録、個人記録に詳細に記録をするようにし、カンファレンスの際には活用している。また各スタッフは記録に必ず目を通し、情報の共有化を実施している	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)		自己評価1項目・外部評価1項目	0	
	3 柔軟な支援	41	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況によっては事業所の持つ機能を最大限に活用し支援していけるようにしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	1	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員とは連携をとり、事業所への理解と協力を要請している。消防には定期的な消防訓練の際に施設の状況を見てもらい具体的なアドバイスや相談等を実施している。教育機関とは体験学習の受け入れや運動会への参加や授業への参加等でお互いに学ぶ機会を作っている	0	
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	入居前の担当ケアマネージャーはもちろん他のサービス事業者とも連携を取りながらサービス利用の検討や必要性を検討している	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今のところ地域包括支援センターとの協働はない。	1	今のところ地域包括支援センターとの協働はないが、必要に応じて対応していきたい
		45 外部 評価 21	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前、入居時にかかりつけ医の確認や家族等の希望を確認し、必要な医療の継続や適切な医療を受けられるように主治医を交えて家族の意向にそえるように支援している	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医を通して必要時、家族希望時等に専門医への紹介をされ、現在は往診にて個別に専門医の必要な診断や治療を行っている	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常勤の看護師と地域の病院の看護職員は常に連携し、日常の健康管理や医療活用を行っている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院した場合は、病院での状況や病状説明、カンファレンス等に管理者が出席し病院関係者との情報交換を蜜に行うと共に、常日頃から信頼関係作りを行い、連携している	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時には重度化した場合や終末期のあり方についてお互いの意思確認を行っており、必要時に個別に看取りに関する同意書と療養計画書を主治医、家族、施設の三者で作成し方針を共有している	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医の協力の下、協力医療機関への早期受診や早期対応にて事業所のできる限りの対応をしている。今後の変化に対しては主治医と相談し、常に相談しながら準備を行っている	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居される場合は本人や家族と十分な話し合いを行い、体験入所や見学等を交えながら徐々に慣れていただきダメージが少ないように配慮している。べつの居所へ移り住む際も情報提供を行い、できる限りの話し合いを持つことでダメージ防止に努めている	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	0	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0	
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人ひとりが常に言葉かけや対応に気を配り、スタッフ同士で気をつけあうと共に、プライバシーの保護に努めている	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者一人ひとりが自分で決めたり、希望を表出したりすることを大切に、それらを促す取り組みを日常的に行っている	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々によってADLやペース、どのように過ごしたいかという希望も違うため、一人ひとりのペースを尊重し、希望に沿って日常生活を送れるように支援している	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	近隣の美容室へスタッフが同行し対応している。またカットボランティアを利用したり、馴染みの美容室へは家族に協力をお願いする等、入居者の希望をもとに支援している	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの能力に応じてスタッフと共に一緒に食事の下ごしらえや配膳、片付け等をしている	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	入居者一人ひとりが望むものは日常的に楽しめるように支援している	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	必要に応じて排泄チェック表を活用し、排泄パターンのチェックや習慣をアセスメントし、個々に応じた介護計画を具体的にケアプランに明記し自立に向けた支援を行っている	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことのできる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日の設定はあるが、入浴にかかる時間や時間帯は入居者の希望に合わせており、希望があればいつでも入浴できるように支援している	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	家事参加や散歩、レクリエーション等にて日中の傾眠を減らし、1日のリズムを作ることで夜間良眠できるようにし、夜間眠れない入居者に対しては話相手になるなどの工夫をしている	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や、能力等のアセスメントを踏まえ、能力や趣味を活かした役割やレクリエーション、サークル活動等をケアプランに取り入れ、喜びのある日々を過ごせるように支援している	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人がお金を所持することを望んであれば所持していただき、買いたいときに買いたいものを買うように支援している。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日々の買い物や散歩等で日常的に外出する機会を持つと共に、個別に希望があれば戸外にスタッフが一緒に外出するように支援している	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	普段はいけない場所に車で1ヶ月に1回は必ず出かける機会を持ち、希望があれば家族に協力を得ながら出かけられるように支援している	0	
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば職員が電話を家族にして、本人と会話していただいたり、手紙も事あるごとに絵手紙やカードを作成し家族へ出すようにしている	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	面会時は笑顔で迎え、お茶やコーヒーをお出してゆっくりと心地よく過ごせるようにはいりょしている。希望があれば家族等の宿泊ができるように支援している	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	0	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関するマニュアルを整備し、研修等にて正しく理解し、身体拘束しないケアに取り組んでいる	0		
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室はもちろん玄関にも鍵はかけずにいつでも出入りができるようにしている	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員はプライバシーに配慮しながら、常に利用者の所在確認を職員間で連携しながら行い、安全の確保に努めている	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの認知レベルと危険性等を常に検討しながら、必要なものは残し、危険性のあるものはより危険性の少ない方法での使用方法の検討をして危険防止に努めている	0		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	施設内研修やマニュアル等にて知識をつけると共に、事故対策委員会での事故報告の共有やフロアミーティングでの検討やヒヤリハット報告書の提出の徹底により施設全体で事故防止に取り組んでいる	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルの整備や定期的な研修会の開催によって職員が急変、事故発生時に対応できるようにようにすると共に、救急蘇生法の講習会の案内をして実際に体験できるように伝えている	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアル内容に沿ったシュミレーションの実施や月1回の防火訓練、年2回の避難訓練を通して避難経路や避難場所、誘導方法を身につけている。運営推進会議の中で災害時の地域の方の協力要請を行っており、地域の緊急連絡簿等にて声をかけてくださいとの言葉をいただいている	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	一人ひとりに起こりうるリスクについては医療、看護、介護の面から家族に説明し、その上で望む暮らし等を話し合い、希望に沿うように支援している。リスクを十分理解していただき対策としてどこまでするのか、抑圧感を感じていないかを常に検討している	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタルチェックや排泄チェックで体調管理や異常の早期発見に努め、毎朝、看護師が必ず入居者全員の健康チェックを行い、速やかに情報の共有をし、対応している	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者毎に薬説明書をファイルし、説明書にて薬の目的や副作用、用法、用量を把握している。薬の変更時は観察項目を医師、看護師が指示し、経過記録に記録することで症状の変化が分かるように工夫している	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	施設内研修にて便秘についてと脱水予防の重要性について理解を深めると共に、毎日の体操、散歩等を実施し、献立に野菜や繊維の多い食材を使用するなどの工夫をしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	施設内研修、施設外研修にて口腔ケアの指導を受け、日々のマウスケアの徹底と方法の検討をしており、必要に応じて歯科に定期的に通院し口腔内状態の改善に努めている	0	
		79 外部評価 31	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者一人ひとりに応じて、咀嚼・嚥下機能、食欲等をアセスメントしながら、食事形態や栄養のバランスを考え支援している。食事摂取量をチェックすると共に、適宜、水分補給の機会を作り1日を通じて確保するように支援している	0	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染予防対策マニュアル、衛生管理マニュアルを作成し、予防や対策に関する研修会を実施し、実行している。時期に応じてさらに注意を喚起するようにしている。インフルエンザの予防接種は基本的に入居者も職員も全員摂取するようにしている	0	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食事提供における衛生管理マニュアルを作成し、食中毒に関する知識を持ち、発生の予防に努めると共に、新鮮で安全な食材の確保のために業者から毎日配達等で安全管理に努めている	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価8項目・外部評価2項目	0	
	2 生活の環境づくり その人らしい暮らしを支える	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価5項目・外部評価2項目	0	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りできるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関は入りやすいように季節ごとに装飾したり、入り口付近には花を置いたり、入居者が作成した手芸品や絵画等を	0	
		83 外部評価 32	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは家庭的な雰囲気、入居者の書道作品や各季節ごとに季節を感じられる装飾を工夫しており、リビングはみんながくつろげるようにソファを設置している。また共有スペースとして和室があり、冬にはコタツを置き家庭的で居心地よく過ごせるようにしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはテーブルと椅子、ソファなどを置き、利用者同士がおしゃべりをしながら過ごせるようにすると共独りのスペースがいい方のために独り掛け用の椅子も準備している	0		
		85	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は家具や寝具、写真やぬいぐるみ、趣味の道具など個人の馴染みのものや思い出の品を自由に持ち込まれ、落ち着いて過ごせる場所となっている	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	小まめに換気し、なるべく自然の風を取り込めるようにしている。利用者の状況に応じてフロアと居室で小まめに空調機を調節して配慮している	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	リビングや廊下、トイレ、浴室にははすりを設置し、洗面台は入居者に合った高さに設定している	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの機能をツールを活用し、アセスメントした上で残存機能を活用し、なおかつ混乱や失敗のないようにニーズを満たし、自立に繋がるようにケアプランを作成している	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	屋上庭園があり、入居者はそこで洗濯物を干したり、プランターで野菜を栽培したり、散歩やピクニックを楽しみ活用している	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	2		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	1	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。